

2020年7月8日

長崎県知事 中村 法道 様
佐世保市長 朝長 則男 様

石木ダム強制収用を許さない議員連盟 共同代表

長崎県議会議員 堀江ひとみ

長崎県議会議員 坂本 浩

佐世保市議会議員 小田徳顕

川棚町議会議員 炭谷 猛

石木ダム・強制収用を許さない県民ネットワーク

事務局代表 松井亜芸子

☎絡先 〒859-3 603 長崎県東彼杵郡川棚町岩屋郷 908-6 (炭谷方)

長崎県の令和2年度当初予算に含まれる石木ダム本体工事費約8億円および
佐世保市の石木ダム建設事業継続が妥当とする再評価報告書
に対する抗議文

長崎県は、新年度一般会計当初予算に、石木ダム本体工事費の一部として約8億円を組み込みました。
また、佐世保市は、石木ダム建設事業の継続が妥当とする事業再評価報告書を国に提出しました。

5

ため。

以下、各事由について述べます。

- ① 住民の合意がなまま長崎県と佐世保市が進めている石木ダム事業は、建設予定地である川棚町川原地区の住民の土地や家屋の権利を奪う強制収用を行うなど、「命」と「暮らし」をないがしろにして深刻な人権侵害を引き起こしています。

この事態は、日本国憲法第11条（基本的人権の享有と性質）、第13条（個人の尊重と公共の福祉）、第14条（法の下での平等）、第16条（請願権）、第19条（思想及び良心の自由）、第22条（居住の自由）、第25条（生存権、国の社会保障的義務）、第29条（財産権）で保障された基本的人権の侵害に当たる憲法違反であると考えます。

本来であれば、付け替え県道工事を中断し、改めてダム建設計画をゼロベースで話し合うべきところで

あるにも関わらず、長崎県が新年度予算に本体工事費を計上することは、住民を愚弄する暴挙であると同時に、我が国の民主主義の根幹を揺るがす異常事態です。

- ② 川棚町川原地区は、太平洋戦争中、川棚町に設置された川棚海軍工廠（昭和 16 年、佐世保海軍工廠の分工場として建設。昭和 18 年独立）の疎開地でした。今も現地には、工場の壁やトンネル跡など、数々の遺構が残されています。昭和 19 年の初め、日本政府は敗戦が濃厚な中でも戦争を継続する方針を変えませんでした。川原地区住民は工場設備の建設のために土地を接収され、住居の立ち退きを迫られました。戦後になって土地は返還されましたが、残ったコンクリートの工場設備を家族総出で手作業で打ち砕き、田畑として再生させる作業は困難を極めました。これらのことは、本来であれば、戦争の記憶が薄れつつある今日にあって、現地の戦争遺構とともに後世に伝え語り継ぐべき重要な歴史ですが、公には記録も保存もされていません。そのうえ、2020 年の今、川原地区は戦時下と同様の公権力による 2 度目の強制収用という事態に直面し、ダム建設のためにすべてが消し去られてしまう可能性もあるのです。

戦争が、「命」や「暮らし」をないがしろにする行為の最たるものであることは言うまでもなく、私たちは皆、同じ過ちを繰り返すまいと心に決めています。しかし、今、私たちの目の前で起きている現実、76 年前とどれほど違うと言えるでしょうか。

- ③ 石木ダム建設計画は、1972 年の予備調査から半世紀近くが経過した今、地球規模の気候変動といった時代の趨勢に見合ったものではなくなっています。国土交通省では昨年 11 月、台風 19 号など近年の激甚災害を受けて、諮問機関「社会資本整備審議会」の小委員会で河川やダムの検証に着手しました。石木ダムについても、改めてその治水効果を見直し、必要性を再検証すべきところです。また、国土交通省は、戦後一貫して進めてきた道路、港湾、ダムなどを中心としたインフラ整備の在り方を根本的に見直す“グリーンインフラ政策”を推進することも表明しています。自然環境が本来有する機能を活用して社会資本整備をしていこうというのが政策骨子です。このような情勢の中で、国の政策を無視するかのようダム建設に邁進する長崎県の、時勢を顧みない旧態依然とした行政のあり方に、多くの県民が呆れかえっています。

- ④ 一方、建設目的の一つとされる佐世保市の利水面について、事業再評価のための検討委員会が去る 2 月 28 日に事業継続を是認する答申書を市水道局に提出し、これを踏まえて市水道局は事業継続の方針を決め、3 月 10 日に報告書を県を通じて国に提出しました。しかし、検討委員会の人選については中立性に大変疑問があり、また、検討内容に関して佐世保市水道局が提示した新水需要予測などの各種資料・データには、明確な科学的根拠がありません。これについては「ダム検証のあり方を問う科学者の会」により意見書が 2 度にわたって提出され、数々の問題点が指摘されています。

さらに、この委員会の会合内容は市民に対して十分に周知されたとはとても言えません。3 回に分けて行われた委員会の傍聴は、毎回別室モニターでの視聴に制限されました。傍聴者からの再三にわたる指摘にもかかわらず、発言者の特定もできない不鮮明な映像と、言葉を聞き取ることが困難な音声は、最後まで改善されませんでした。挙句、市水道局の方針を丸呑みした答申書を委員会から受け取った水道局長が、その場で報道陣の取材に対して発した言葉は、「事の是非を再評価の場で（議論）するつもりはない」というものでした。事業を「再評価」すること自体を否定する水道局長の発言は、ダム建設事業推進を既定路線とした佐世保市行政の姿勢を明示するものであり、これを看過することは、長崎県も同様の姿勢であ

ることの証左です。

- ⑤ そもそも、石木ダム建設事業は、自然環境保全の観点からも許されるものではありません。建設予定地の石木川流域は、「発展」の名の下で自然破壊を止められなかった現代日本の国土において、本来の里山の豊かな生態系が残存する希少な地域です。にもかかわらず長崎県は、石木ダムの事業認定を申請するために2008年に行った環境アセスメントで、驚くべきことにダム建設が環境に与える悪影響は回避できるとしています。ダム建設が環境に少なからずダメージを与えることは、これまでこの国で建設されてきた数多くのダムの状況を検証すれば明らかな事実です。特に稀少生物が数多く生息する石木川流域の豊かな生態系は、ダム建設で失われれば二度と戻ることはありません。

豊かな自然の恵みを受け、まさに生きものたちとともに命を繋いできた川原地区の人々の暮らしは、日本列島において持続可能な、本来の人間の暮らしであり、この先の我が国のあり方を考えれば、今こそ守るべきものです。石木ダム建設は、川原の住民にとって受け入れられないものであると同時に、彼らとともに暮らす生きものたちにとっても、また、彼らの暮らしの土台である里山の自然環境にとっても受け入れられないものなのです。

長崎県の令和2年度当初予算に含まれる石木ダム本体工事費約8億円は、主権者である国民の税金です。私たちは、この予算の執行停止を求めます。また、国民全体として、佐世保市の石木ダム建設事業継続が妥当とする再評価報告書に関わる不誠実な行政のあり方が公然とまかり通るような事態を放置することはできません。折しも、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るうなか、私たちは皆、それぞれの立場の違いを認め合い、「命」や「暮らし」の尊さを改めて確認し、どうすればその本当の豊かさを後世に残せるのか、ともに考え、実践していく必要があります。ついては、貴職に置かれましても、市民・県民の声に今一度真摯に耳を傾け、ダム建設事業推進を既定路線とする姿勢を改め、時代遅れの石木ダム建設事業を見直すことを強く求めます。

今月末までに、上記①～⑤に関する見解も含め、文書にて回答をお願いいたします。

以下、賛同団体（五十音順）

I 女性会議させぼ支部

いい映画をみる福岡の会

石木ダム・強制収用を許さない福岡の会

石木のまもりびとと共に@東京

伊万里民主商工会

We Love 9条市民ネットワーク・福岡

映画「悠久よりの愛」製作委員会

N-DOVE

大鹿の十年先を変える会

九州住民ネットワーク

行政委員会のあり方と報酬を監視する市民の会

九十九島9条&99条の会

くらしと地域を考える長崎市民の会
玄海原発反対からつ事務所
原発と人権を考える会
原発の無い玄海町を考える福岡県民の会
憲法骨抜き NO(ダメ)!ねりま
五ヶ山ダムの利水・治水を考える会
コミュニティ道路としてのオレンジ通りを守る市民の会
子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会
佐世保女性ネットワーク
さんばば（三婆）
三里塚現地闘争本部
三里塚芝山連合空港反対同盟
自衛隊への名簿提供をやめさせる市民連絡会
死刑廃止・タンポポの会
自然との共生を求める糸島市民の会
島原民主商工会
新日本婦人の会大村支部
新日本婦人の会佐世保支部
新日本婦人の会長崎県本部
住みよい西新の街を創りたい地域連絡会
正義と平和を愛するキリスト者協議会
瀬戸内伝統航海協会
選挙制度と議員のあり方を考える市民の会運営委員会
#ダムより花を
筑後川水問題研究会
Take it! 虹
東京の水連絡会
怒髪天を衝く会
長崎健康友の会
長崎県健康友の会連絡会
長崎県自治体労働組合連合
長崎県商工団体連合会
長崎県地域・自治体研究所
長崎県民主医療機関連合会
長崎県労働組合総連合
長崎在日朝鮮人の人権を守る会
長崎西部青果市場
日本共産党福岡西部地区委員会
日本国民救援会長崎県本部

日本国民救援会長崎支部
日本民主主義文学会佐賀支部
博多湾会議
ピーすなう法律事務所
東区から玄海原発の廃炉を考える会
フェアな社会をめざす会
福岡県民主医療機関連合会
福岡・戦争に反対する女たち
福岡市議会改革市民検証委員会
福岡社会問題研究会
ふくおか自由学校運営委員会
福岡・日雇労働組合
ふくおか緑の党
平和といのちをみつめる会
まなぶ農園
民主長崎県政をつくる会
八ッ場あしたの会
八ッ場ダムをストップさせる埼玉の会
「よみがえれ！有明海訴訟」を支援する長崎の会

以上